

宮崎県産ピーマンにおけるブランド化について(1)

1 宮崎県・JAによる「さららピーマン」の取組

① 「さらら」とは、ピーマンの品種名で、ビタミンが豊富で緑色が濃く、苦みの少ないのが特徴。

② 特に、JA^{おすすめ}尾鈴産のものは、令和元年11月から「栄養機能食品（ビタミンC）」と「特別栽培農産物」の両方を表示して販売。

③ 「特別栽培農産物」として農薬5割減、化学肥料5割減と環境にやさしい取り組みを実施。

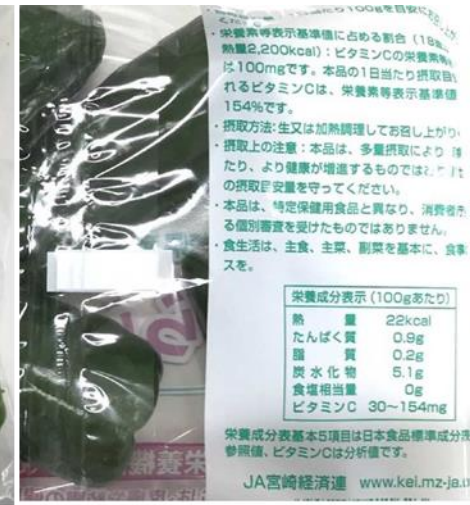
④ 主な販売先は、コープ東北（東北3県）、コープデリ（関東1都7県）へ年間350～400トンを販売。その他、コープみやざき共同購入分へも販売。

⑤ コープ東北ではプライベートブランド「めぐみ野」として、宮城・福島で展開。（特別栽培、栄養機能食品表示）

○ さららピーマンのパッケージ



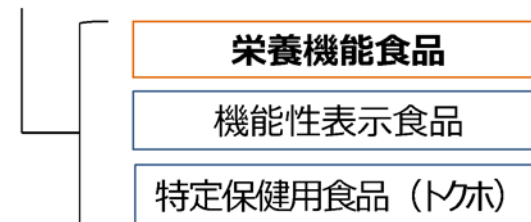
表面



裏面

○ 保健機能食品の分類

● 保健機能食品・・・機能性の表示ができる



● 一般食品・・・機能性の表示ができない

宮崎県産ピーマンにおけるブランド化について(2)

2 イオングループとの取組

- ① 令和2年4月に、JAはまゆう、JAえびの市のピーマン部会がGLOBAL G. A. P. 認証を取得。
- ② JA宮崎経済連は、イオントップバリュ(株)と連携し、認証されたピーマンを「GGNラベル商品」として商品化。
- ③ 関西地区のイオンリテール(イオン店舗)やイオン九州、マックスバリュで販売を開始。
- ④ 併せて、イオングループのプライベートブランド「減の恵み」及び宮崎県産ピーマンの栄養機能食品(ビタミンC)の表示を加えて訴求。
- ⑤ なお、JAはまゆうが冬場に、JAえびの市が夏場に出荷を担うことで、年間を通じた売場を確保。



3つの魅力を表示販売



資料: JA宮崎経済連、令和3年2月15日付けプレスリリース